

【開催報告】

2021年3月16日、フードバンク活動マッチング支援事業の成果共有会を開催しました。

令和2年度農林水産省の補助事業フードバンク活動マッチング支援事業として、当法人が取組んできた食品ロスを有効活用し、これまで活用しきれなかった冷蔵・冷凍食品等を活用できるシステムを構築する事業の成果を発表・共有する場として、全国をオンラインで会場とつなぎ、全国フードバンク団体や生協、食品事業者の皆様にご参加いただき開催しました。

当日は登壇者も含め67名にご視聴頂き、マッチングシステムの有効性や改善点・課題を共有し、視聴者の方からもご意見やご感想をいただきました。ご質問も含め、以下の通り掲載させていただきます。

各地域のフードバンクや企業、全国の生協の方々と、マッチングシステム構築のモデルとして実証実験に関わって頂いた食支援活動ビーバーリンク団体の皆様のご協力・ご賛同により事業が実施できましたこと、改めて御礼申し上げます。

今後も更に活用しやすいシステムへと改善していく予定です。

特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川

*****Web アンケートで頂いたご意見・ご感想・ご質問*****

全国のフードバンク活動と課題が聞けて大変良かった。
全国の状況を知ることができ、大変有意義でした。
大変勉強になりました！
取り組みについて、この1年の着実な前進を感じ取ることができました。ありがとうございました。
コロナ禍でも寄贈するものが増えているなど、とても参考になりました。ありがとうございました。
勉強になりました。
行政や事業者、他団体を巻き込んでの報告会、大変学びが多く、有意義な時間でした。ありがとうございました。
このたびのコロナのような未曾有の状況下で、食糧支援は、大変大切で、必要なことだと思いました。現在、もともとは支援に頼らず自立して生活していた方が、食糧支援を必要な状態になっているのは、異常なことのようにも感じています。多くの方が元の生活に戻れるように、やらなければならないことを考えていきたいです。
農水省の補助事業でこのようなシステム構築をしているとは全く知りませんでした。連携しているところとの調整やテストなど相当の作業だったと思います。システムがうまくできるといいと思いました。ただ、セカンドリーグ神奈川さんと、その他の連携されているフードバンク神奈川さんをはじめとした団体などとの関係が今一つよくわかりませんでした。神奈川のフードバンク団体などの組織図のようなものがあればいただきたいです。よろしく願いいたします。
→当法人では、神奈川県内で活動するフードバンク団体の組織図を作成しておりません。
・事前に実施された各種フードバンクや生協などのアンケートの結果が知りたいです。 ・ディスカッションでも出されていたように多様な団体でのシステム構築はそれぞれが独自に進めているのが実態だと思います。各パネリストから出された問題意識はもっともなので、多くの団体との議論の場が必要だと思いますが今後の開発の方向性などがあればお伺いしたいです。
→今後もシステム構築につきましては継続して実施予定で、多くの団体の方からの意見をいただく場も検討しております。
どのお話も大変勉強になりました。マッチングシステムも大変便利で、リレートークの発表者の方も仰っていましたが、早く全国でできるようになれば…と思う反面、我が県もフードバンクを行う団体が複数あるため、

<p>システムがバラバラになり提供者・利用者が混乱する心配もあります。そのあたりも考えていかねばと気付かされました。このような機会を設けていただきありがとうございました。</p>
<p>今回の事業に参加したところ・方にとっては分かりやすい内容だったかもしれませんが、そうでない者にとっては、どういう事を行って、どういう問題があったのか、そしてどんな課題が想定されたのか、今後どうしていくのか…という展開の内容だと成果報告会としては分かりやすかったなあ、と思います。</p> <p>フードバンク活動に関わる諸団体にとってマッチングに係る諸作業が大変であることと、地域で様々な団体・行政との連携・協働をすすめる事の重要性は分かりました。</p>
<p>非常に興味深く拝聴いたしました。もう少し時間があるとゆっくりと聞けたような気がします。</p>
<p>フードバンク支援事業等関連している団体の現在の様子がよくわかりました。今後も食品等を寄贈されたい企業などが増えることを考えると、マッチングシステムの必要性を感じます。地域性や事業に関する認識のずれなどから統一することの難しさや、運用面での利便性など課題の多さもありますが、今後のシステム開発に大いに期待しています。</p>
<p>全国のフードバンクの状況や食品の入荷や出荷の管理で苦労されていることが良く分かり参考になりました。</p>
<p>今回はありがとうございました。一つ質問です。地域によって実情が違うと思いますが、フードバンクにおける、生活困窮者等への支援としての社会福祉協議会や自立支援センターの関わりは、どの様な位置づけでしょうか。小田原市では、連携がされているお話がありましたが、その他の地域では余りお話が出てこなかった様です。</p>
<p>16:00～からの視聴でしたが、現場の方々の話が聞けてよかったです。</p>
<p>マッチングシステムの目指すところや可能性が理解できたと同時に、今後のあり方について、もう少し検討が必要だということも、理解できました。システムがよりよい形で完成して稼働するために、農水省の支援も継続されることを期待しています。</p>
<p>川崎市のどこと連携されているのか、お伺いできれば幸いです</p> <p>→当法人で取り組むビーバーリンク@武蔵新城が川崎での活動となります。</p> <p>https://www.sl-kanagawa.org/beaverlink/</p>
<p>第2部のリレートークが興味深かったです。子ども分野に寄付希望が多く集まるということ実感しています。ある子どもの「何で私たちにこんなにたくさんおいしいものもらえるの?」という言葉にはっとして、先日寄付いただいた事業所に子どもを連れてお礼に行きました。頂きものへの感謝の気持ちも併せてしっかりと子どもたちに伝えていきたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>マッチングシステムが必要なケースもありますが、必要のないケースもふくめ今後のフードバンクの課題がよくわかりました。ありがとうございます。</p>
<p>フードバンクが日本の食品流通のインフラとしての位置づけになってきているように思います。各団体の善意の取組みでは限界に達するかもしれないので、国の早期のサポートをお願いしたいと思います。</p>
<p>来客がありまして途中でしてが大変参考になりました。</p>
<p>とても参考になる報告会でした。何か出来ることがあればぜひ協力したいです</p>

* 全国のフードバンク団体及び全国の生活協同組合へ実施したアンケートは、報告書に記載しております。

報告書をご要望される方は、sl-kanagawa@pal.or.jp へご連絡をお願い致します。